

世界知の蓄積と、地球社会との協働を

accumulation of world knowledge, interaction with the global society

東京外国語大学出版会の本

本学がめざしている出版活動は、第一に、他大学では肉薄できない国境を越えた言語と文化のリアリティに迫ること。第二に、他大学の追随を許さない言語教育の教材とスキルを提供すること。第三に、空間と歴史の両面からアプローチした世界の政治・経済・文化の“認識”と“思考”の手助けとなる道具を整えることです。つまり社会と知性とのあいだにある媒介的な領域での出版活動です。これまで以上に熱い知を発信しつづける出版会に、ご期待ください。

中国近代史

蔣廷黻
佐藤公彦訳

中華民国の外交官を務めた外交史研究のバイオニアが、緊迫する国際情勢のなかで、アヘン戦争から抗日戦争初期までの歴史を生き生きと描く古典的歴史書。

2625円

ラテンアメリカにおける従属と発展

F・H・カルドローソ他
鈴木茂他訳

ブラジル大統領だった社会学者の出発点となる、ラテンアメリカ研究の古典。昨今の反グローバルイズム・反新自由主義の思想的背景を理解するための一冊。

2940円

東南アジアのイスラーム

床呂郁哉／西井涼子
／福島康博編

最も多くのムスリムを抱える東南アジアのイスラームの歴史や文化から政治・社会・ビジネスまで、その実態を第一線の研究者が多角的な視点から解き明かす。

3780円

〈アラブ大変動〉を読む

酒井啓子編

混迷のなかにあるアラブ世界を第一線の中東研究者が、その深い見識と独自の視点から読みとき革命の〈歓喜と〈全苦悩〉〉に迫る。詳細な「アラブの春」年表付き。

1575円

アンナ先生の言語学入門

アンナ・ヴェジビツカ
小原雅俊／石井哲士朗他訳

言語学のエッセンスをちりばめながら、世界のさまざまな言葉の用例をふんだんに駆使し、言語学の基本概念と研究課題をやさしく、しかも興味深く語る。

2100円

英作文なんかこわくない

猪野真理枝／佐野洋
馬場彰監修

ふたつの言語体系を相互に比較する対照言語学的なアプローチにより、日本語の表現形式とその意味を正しく理解することで、自然な英語で表現する方法を学ぶ。

1890円

パンダ

プラープダー・ユン
宇戸清治訳

タイのポストモダン文学の旗手が放つ、真摯にして滑稽、ペーソスと現代文明批評に溢れた傑作長編。シリーズ〈物語の島アジア〉の第一弾！

2310円

未知へのフィールドワーク

ジリアン・ピア
鈴木聡訳

19世紀から20世紀の思想的激動の時代に、最新の科学的知識は、社会と人間にどんな影響をもたらしたのか。英文学・文化研究の泰斗による研究の集大成！

4410円

豊饒なるエジプト 1841-44

本学アジア・アフリカ言語文化研究所編

1848年にロンドンで出版された『オリエント画集 ナイル流域の人々 服装・生活様式』にジェームズ・オーガスタス・セイント・ジョンの解説を付した日本語版。

3150円

よくわかる 逐次通訳

ベルジュロ伊藤宏美
鶴田知佳子／内藤稔

本学大学院での実技指導から生まれた通訳の教科書。豊富なスピーチ例の音声と動画でナマの授業を体験！ノート・キングの実例と解説を収録したDVD付。

2940円

直接法で教える日本語

本学留学生日本語教育センター指導書研究会編

長年の蓄積をふまえた最も適切な場面設定、説明用の台詞、留意点など効果的な指導法をていねいに解説。よくわかる文例導入用カラーイラストCD付。

3360円

ドストエフスキー 共苦する力

peria books
亀山郁夫

『罪と罰』『白痴』『悪霊』『カラマゾフの兄弟』のドストエフスキー四大長編に分け入り、隠された秘密を読み解きながら、現代人の救いのありかをさぐる。

1470円

身体としての書物

peria books
今福龍太

ボルヘス、ジャベス、ベンヤミン、グリッサンらの独創的なテクストを読み解きながら開示される、「書物」という理念と感觸をめぐる新たな身体哲学。

1680円

中上健次と村上春樹

柴田勝二

「大きな物語」としての〈六〇年代〉をくぐりぬけて作家となった中上と村上。ふたりの差異と重なりを緻密に読み解き、ポストモダンの様相を浮かび上がらせる。

2625円

〈雑誌〉FIELD

第3号／第8号

本学アジア・アフリカ言語文化研究所発行

多様な研究分野の垣根を超えて、世界各地をフィールドとする研究者たちの取り組みや経験を、豊富なカラー写真と図版で紹介。年2回（1月・7月）発行。

500円

※すべて税込み価格です